

# 上里 シルバーだより

会報第11号 (2011年4月)

基

本

理

念

自主

シルバーを私たちの物としてかんがえます

自立

シルバーを私たちの力で育てます

共働

私たち会員は仲良く働きます

共助

私たち会員は互いに助け合います



社団  
法人 上里町シルバー人材センター

TEL・FAX 0495-33-4231

会員入退会の状況 2011/2/28 現在

平成22年4月30日より増減

男性 153人 4人増

女性 69人 1人増

合計 222人 5人増

## 予算総会

3月26日七本木公民館にて委任状97名・出席者65名の多数の参加をいただき開催されました。

久保次長の司会で花形理事長の挨拶を受け、清水議長の進行で予算総会の会議が行われました。

23年度に公益法人に移行するにあたって、昨年度の「安全第一」の経費を継続し、センターでの仕事量の増加を図り、健全経営で「魅力あるセンター」を構築すべく活発な討議がなされました。議案1号で事業計画の趣旨説明が行われた。

低迷が続く経済界の中、厳しい雇用環境ではあります。就業機会の開拓に

努め、公益法人制度改革関係法に基づいて「公益社団法人」へのスムーズな移行をしてまいります。法人税など税制面での優遇処置を受けている公益目的事業については充分な活動を行い、事業の展開を図ります。

「基本方針」として  
会員の増強を図り、会員に適した就業を提供し、会員の技術の向上を確立し、運営体制を強化して行きます。

「重点目標」は7点ほど定めました。

- 1、就業開拓提供事業
  - 2、普及啓発事業
  - 3、研修講習事業
  - 4、調査研究事業
- きめ細やかに計画し、

事業を推進してまいります。

議案2号では収支予算書の説明が行われた。

一億五千万以上から事業活動収入を画策し、各事業に支出として振り分ける。その中、安全適正就業推進費・普及啓発費は増額した。

又、法人会計の健全経営を図る為、理事会の認証を受けている事務費を5%から7%へ引き上げて引き続き健全経営を図る。

5月よりホームページを開設して上里シルバークリニックのPRをしていく。会員の知る権利は最大限尊重する。



## 新年会

今年は76名の多くの会員が「小菊」に集まって楽しみました。

上里町シルバー人材センターも平成20年秋に設立し、3度目の新年を迎えました。大変厳しい経済情勢の中、各種事業を充実させ更に福祉行政推進発展しております。事は、花形理事長を先頭に役員の皆様のご尽力と会員相互のご協力の賜物であります。

町民の皆と共に安心してこの町に住み続けたいと思われ町づくり、健康づくりを会員相互の協力で共に今後も進めてまいります。



上里町人材シルバーセンターの一層の飛躍と会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、美酒に酔い、爽やかな歌声を小菊の部屋に充滿させて、壮年パワーを見せつけた一日でした。



## 会員の募集

上里シルバー人材センターでは会員を募集しています。

60才以上で健康で『働く喜びと社会参加』をしようとする  
高齢者の方々に対して臨時的かつ短期的な仕事を提供します。

## 交通安全

### 講習会



3月13日(AM)多目的スポーツホールに於いて開催されました。(101名の参加。過去最多)

久保次長の進行で先ず佐藤安全就業委員長・町田事務方安全就業委員から「安全第一をモットーに就業して下さい」。「多忙になるとヒヤリ事例等生じやすく事故防止に常に心がけて下さい」等の話が有りました。

本庄警察署から3名(うち女性1名)の講師を招いて行われました。

本題に入る前に「振り込みサギにあわないように」という話が有りました。キャッシュカード・暗証番号・携帯番号等の話をされたら絶対に応じないで警察に連絡する事だそうです。

笑い話みたいですが同居している息子がいるのにオレオレサギにあった例もあるそうです。

今年3月までの県内の交通事故死亡者は39人(全国ワースト2)で60才以上の高齢者は18人(46%)と突出してる。発生状況は自転車を利用していた場合が11人(61%)で高齢者の自転車の乗り方の指導を重点項目として実施しているそうです。

今回も体育館前広場で交差点での一時停止・前後左右の確認等実施しました。

交通事故は歩行中・車の運転中いろいろのケースで加害者にも被害者にもなりえます。

ビデオを観させていただいてどんな理由にしろ、事故を起こしてはいけないと痛感させられました。

講師から配布された資料に「ストップ・アンド・サーチ」と印刷されたものが有ります。

意味は一時停止すべき場所では必ずストップ、他の車や歩行者などの危険要因をサーチしようという事です。(車は来ないだろうでなく、来るかもしれないと予知する)

高齢者となれば必然的に肉体的にも判断力も劣ってくる事を自覚するのが大切だと女性講師がユーモアを混ぜて話されました。その事を証明する為に簡単な指(手)を使っの運動を指導してくれましたが納得させられませんでした。

その他事故を起こしやすい事例として「あじのひらき」という言葉であります。

頭文字からあ↓歩く人が・じ↓自転車に乗る場合、ひ↓左側から来る車に注意・ら↓ライトの時刻に多い・き↓近所で油断する。

約一時間半の講演会でしたが全員熱心に受講されました。

## 職場紹介

### 椎葉 正人

昨年度、政府の緊急雇用政策の一環で一年間の期限付きで「学校関係」のお手伝いを受け賜りました。

リーダー1名・副リーダー1名・班長2名及び10名での構成で仕事を担当しています。



「学校関係の仕事には」校舎の塗装・校庭内の側溝の泥上げを行い、八町河原まで捨てに行ったり・植木の剪定などで学校のイチョウの大木6本を伐ったりとなれない仕事でしたがKYを毎朝行い、ケガをしないよう心がけて取り組みました。

私は63歳で定年をしましたがこの仕事には全く関係が無く、不安と戸惑いの毎日でしたが親切丁寧に教えられ、シルバートの仕事を通じて大切な仲間としての絆を得る事が出来ました。  
\*元気で働ける事。  
\*サラリーマン時経験した事のない体験が得られた事。  
貴重な一年でした。

精一杯仕事をして、好きな酒を飲んで、仲間のカラオケを聞いて楽しむ「のみニケーション」が大切に楽しみます。

今後ともシルバーで多様な仕事を斡旋して頂き、ボランティアを取り込んで、多くの働きたい人のニーズに対処し、多くの仲間が出来たらと思います。

65歳の現在、町の交通安全協会への協力、マラソン大会・運動会など積極的に参加をしてみました。

安全な仕事は、「教わり」・「覚える」しか安全はないと思っております。学校での仕事で暑い日・雨の日など、きつい日も有りましたがペンキ塗

り・ライン引きなど作業が終わって、先生方には喜んでもらい、自分でも思ったより良く出来たとの達成感には満足しています。

長い様で短い一年間、ご苦労様でした。

今後も新しい職場で頑張ってください。

尚、23年度に於いても新メンバーで引き続き同種の作業形態を構築していきます。



## 安全委員会の開催

20年6月に発足した委員会ですがその間、内田委員長を中心に会員の安全に精力的に取り組み、仕事に安全意識を浸透させてきました。

又、不幸にして起きた松本氏の転落事故の際は即時に臨時委員会を設立、何回も委員会を設定、事故究明に奔走しました。

22年任期が満了にて、新役員を選出した。

委員長に佐藤勝正氏・副委員長に大城正隆氏を全会一致で選出した。

その他、委員に中嶋光利氏・阿部昭夫氏・松下豊治郎氏・今井弘氏の6名で構成し、安全作業が出来るよう努力してまいり

ますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

「安全」は命に係る事故を防ぐ事が使命である。先ず、①一現場の実情を把握する。②安全に関するみんなの意見を吸い上げる。③理事を含む全員で取り組む。④事故に対しては責任追及とせず原因追究をする。

以上、安全は通勤時の交通事故等、安全に対する情報を迅速に的確に見た事・聞いた事を全員に知らせる必要性をこの委員会で確認しました。



### 東日本大震災復興義援金ご御協力をお願い

(社)上里町シルバー人材センターでは、義援金箱を当センター窓口を設置し、東日本大震災を支援するため、義援金のご協力をお願いしています。

#### 分配金の支払日

5月分 5月10日(火)  
6月分 6月10日(金)  
7月分 7月11日(月)

#### 行事予定(4月～6月)

4月 5日(火)理事会  
6月中旬:理事会  
6月26日(日)平成23年度定期総会

#### 編集後記

上里ゴルフ場でお世話になっております齊藤正美ですが、本号より広報委員を担当する事になりました。経験もなくどのようにお役に立てるか心配なところもありますが、少しでも見やすく会員皆様が楽しみにしていただけるような紙面づくりを行っていきたいと考えております。ご支援、ご協力をお願いいたします。

発行 社団法人 上里町シルバー人材センター

上里町大字神保原町1401 Tel・Fax 0495-33-4231